

からのある分間の授業を実施し、授業の前後でアンケート（資料11）を実施した。また、参加中学生の数名は後日、スタジオで専門医師とのQ&Aに参加し、同年代層へのメッセージの発信を試みた。②大阪市の大規模イベントへの参加 2015年11月29日に開催された大阪市のイベント「御堂筋オータムパーティ」に参加し、ブース出展を行い（資料14、資料15）、参加市民への情報提供やアンケート（資料17）を実施した。

### 3) HIV/AIDS 意識調査の比較検討

中学3年生に対してアンケート調査を実施し、結果を資料12、13に示した。番組HPや、イベント（11月29日「御堂筋オータムパーティ」）でアンケート調査を500名に配布し367名の有効回答を得た。合計で548名の有効回答であった。本番組のHPでのアンケート調査の回答との比較検討を行った（資料16～資料23）。LOVE + RED 特設サイトのアンケート調査への有効回答（全問回答）者の結果は資料18～資料23に、「御堂筋オータムパーティ」の有効回答者の結果は、同資料に質問毎に併記（上段がイベント参加者、下段が番組リスナー）した。年齢はリスナーの方が若い世代が多い傾向があった。各設問については、後者の方が正答率が高い傾向があった。特に、Q1「HIV検査が無料匿名で受けられることをご存知ですか?」、Q2「HIV検査はどこで受ける事ができるかご存知ですか?」、Q7「HIVは性交渉で感染すると思いますか?」、Q9「HIVからAIDSの発症を抑える薬が開発されているのをご存知ですか?」の各問いで正答率の違いが伺えた。また、前者で実施したLGBTに関する質問Q11、Q12（資料23）から、「LGBTの方々に対し、概ね好意的な印象を持っている傾向が伺えたが、年代別に見ると、50代以上の方々の理解は乏しい印象があった。」

### 考察

イベントで参加した一般の方々と、番組HPから回答した方々の意識調査の比較から、番組HPから回答した方々（番組リスナー）の方が、より正解率が高い結果となり、番組を聴取することで、より正しい理解につながった可能性がある。ただ、以前より理解あるいはHIV/AIDSに興味のある方が番組を選択し聴取している可能性もあり、検討が必要と考える。また出張授業を行った中学生への意識調査

をみると、「はじめてHIV/AIDS（および性感染症）について考える機会となった」という回答も散見され、若年層へのアプローチ・タッチポイントの少なさが懸念され、学校等への今後のアプローチが必要と考えた。

### 結論

ラジオ電波を用いた啓発活動の成果について、意識調査の結果から一般市民に対するラジオ電波およびWEBサイトを用いた啓発活動は一定の効果があるといえる。

継続的な啓発活動を行う事が正しい理解促進・知識向上の重要な手法の一つであるので、「継続的な啓発展開が可能なメディア」であるラジオを中心に、WEB・ラジオ局関連イベントの活用も絡めて、今後は各学校や自治体との連携につき検討し、さらにその活動を推し進めていきたいと考える。

### 健康危険情報

該当なし

### 研究発表

該当なし

### 知的財産権の出願・取得状況（予定を含む）

該当なし

**実施目的・概要**

**実施時期**  
2015年6月～

**ターゲット**  
若年層をはじめとした一般市民全般（MSMを意識しつつ広く一般市民とする）

**目的**  
HIV/AIDSに対する意識向上・理解度の向上  
（MSMによる感染が多いことを認識させ、理解させる事を目的の一つとするため、LGBTに対する啓発・現状理解もめざす）

**実施内容（概要）**

★電波展開

- エフエム大阪で毎週30分レギュラー番組を展開  
⇒継続的な啓発活動を目指す
- プロジェクト特設サイトを制作
- WEBを活用したソーシャル展開

★成果検証展開

- ・HIVに関する意識調査を実施
- ・エイズウィークとの連携

※番組内（間も含む）において、一般メーカー各社の宣伝・商品の販売促進や商品のCMは流さない。

資料1

**主な実施内容・成果**

①ラジオレギュラー番組放送によるメディアとしての啓発活動  
・多くのゲストの方々にご出演いただき、現状・想い・告知など様々な立場からの状況をリスナーに届けてきた。  
・中学校への出張授業をしたり、高校生に協力いただいたり、職業・世代を超えた各方面からご出演いただいた。

②「LOVE+RED」特設サイトの制作・運営  
・特設サイトを立ち上げ、番組のポッドキャスト展開、意識調査、理解度チェック、情報サイトへのリンクバナー設置などのコンテンツを配信。約46,000PVのアクセス。

③番組ステッカー（5000部作成）の作成・配布  
＜配布先＞  
①エイズ予防財団 500枚 ②公開収録先の中学生 300枚 ③番組リスナー 910枚  
④御堂筋オータムパーティー時 100枚 ⑤「THE BODY SHOP」1,000枚  
⑥エフエム大阪イベント時 2,000枚

④大阪エイズウィークス2015との連携  
・エイズウィークス連絡会への参加  
・エイズウィークに携わる方々の出演、開催告知  
・エイズ予防財団様のPRブースにて番組コーナーを設置  
⇒意識調査抽選会

⑤市民への意識調査の実施  
・2015年7月 公開収録（中学校への出張授業）先の中学生3年生169名（男子81名、女子88名）  
・2015年11月 御堂筋オータムパーティー 367名  
・2015年6月～ 番組リスナー 181名

資料2

**ラジオ番組概要**

**ラジオ番組**

**概要**

HIV/AIDSの啓発に関わるテーマを元に展開する30分番組を毎週放送。HIV/AIDSに見識のあるゲストコーナー、最新のニューストピックス、検査情報、関連した楽曲のOA多岐にわたる情報をお届け。リスナーへ関心を持たせ、知識を向上させる番組をめざします。あわせてHIV感染と切り離せないLGBTに対する理解向上も大きな目的の一つです。

★放送時間  
2015年6月～ 毎週土曜日21:00～21:30

★DJ  
・みい

★ゲスト  
・HIV/AIDS見識者・LGBT見識者（医師・研究者・支援団体など幅広い方々）

★提供要領  
・啓発CM120秒（60秒×2回）※CM原稿は次頁をご参照ください。

資料3

**啓発CM内容①「もしもあなたの大切な人が」篇**

**ラジオ番組**

BGM：（ゆっくり落ち着いた雰囲気）

女性NA：（ゆっくりかみしめるように）  
もしも...あなたの大切な人が... HIV感染症になったら  
やさしく、抱きしめてください。  
あなたの正しい知識が、勇気になります。

世界では減少傾向ですが、日本では毎年、およそ1500人の新規HIV感染があり、増加傾向にあります。

これは決して他人事ではなく、私たちが関心を持ち、行動をすれば、感染を防ぐことができます。

性行為以外の日常生活では、HIVに感染しません。それに早期発見、早期治療で発症を抑えることもできます。だから大切な人いつも通り接してください。

あなたの正しい知識と行動が、やさしさに変わります。

今、みんなで考えて、行動しましょう。 HIV、AIDSについて。

資料4



啓発CM内容②「ダメな彼としっかり彼女」篇

ラジオ番組



BGM：(色っぽい、甘いイメージ)  
男性NA：なあ、大丈夫だって。オレは大丈夫だって。

女性NA：その大丈夫は、ほんとに大丈夫なんか！

男性NA：だ、大丈夫やと思う...

BGMチェンジ：(女性NAに合わせた勢いのある勇ましいイメージ)  
女性NA：世界中でHIV感染者は3500万人、日本でも毎年、およそ1500人が新しくHIVに感染してて、増加傾向にあるのよ！

男性NA：え！増えるの？

女性NA：そう。それに一番多い感染経路は、性行為なの。感染を予防する知識、ちゃんと持っている？

男性NA：いや、その場の雰囲気というか...

女性NA：そういうのが一番ダメ！もしも感染したらどうするの？

男性NA：えっ！それは不安...

女性NA：じゃあ、検査に行かないと！  
早期発見、早期治療をすれば、発症は抑えられるのよ。

男性NA：わかった...正しい知識を持って行動することが大切なんだね。

女性NA：そう！HIV、AIDSについて、正しい知識で向き合いきましょう！

資料5

基本的な番組進行イメージ

ラジオ番組



内容	詳細
タイトルコール	
前CM (60秒)	HIV/AIDS啓発CMを放送
オープニングトーク (約3-4分)	先週のふりかえり、今週のゲスト紹介、HIV・LGBTにまつわるニューストピックスの紹介
♪Music①	
メインコーナー (約10分)	●ゲストとのトーク
♪Music②	ゲストの方のリクエストがあればその楽曲をOA
エンディングトーク (約3-4分)	啓発イベント・検査情報の告知、来週の内容告知など
後CM (60秒)	HIV/AIDS啓発CMを放送

資料6

番組放送内容 (2015年6~10月)

ラジオ番組



●HIV/AIDS啓発、LGBTを主とした活動をされているそれぞれの方にお越しいただき、総勢31名の方々に越しいただきました。

放送回数	放送日	出演者	主な内容
1	6月6日	白原理恵様	白原先生に厚生労働省の「エイズ動向委員会」の最新調査報告に加え、「正しく知る」「予防・検査」について語っていただきました。
2	6月13日	白原理恵様	
3	6月20日	カール様	原やドナルドLGBT情報について、お話を伺いました。
4	6月27日	(「旅行プランナー」)、「Carl's link」(コーナー)	お話し「HIV/AIDSの現状」「LGBTの現状を深める」活動、体験談などを語って頂いています。
5	7月4日	辻宏幸様	エイズ予防財団の役員や、HIV/AIDSの啓発に関わっている様々な団体の取り組みをお話していただきました。
6	7月11日	(公益財団法人エイズ予防財団)	ACジャパンのHIV検査促進のCM番組内で紹介しています
7	7月18日	白原理恵様	大坂市内、基中学校の中学3年生の生徒さん達と一緒に行った公開収録の様子を放送。中学校時代のお話や、HIV/AIDSの基礎知識に加え、性感染症の予防法などを学びました。
8	7月25日	白原理恵様	
9	8月1日	GENKING様	ゲイであることをカミングアウトし、現在人気急上昇中のGENKINGさんに出会い、LGBTへの理解、ファッションのお話、仕事の話など伺いました。
10	8月8日	(ゲスト)	
11	8月15日	基中市内中学校中学生の皆さん	夏休みまだだの中学3年生のみねさんがスタジオ登場！将来の夢を語ってらました。
12	8月22日	白原理恵様	白原理恵先生に、HIV/AIDSについて様々な疑問/質問を投げかけました。
13	8月29日	-	総集編として、ゲストでお話ししました。HIV/AIDSについては、白原理恵先生、辻宏幸さん出演回を、LGBTについては、カールさん、GENKINGさん出演回をピックアップです。
14	9月5日	三村麻仁様	HIV/AIDSの啓発活動にも熱心なプロデューサー三村さんをお話し、「大阪エイズウィーク」で開催するイベント「EROTIC EXPO」の概要や、アートとして正当な評価を付けていない社会的マイノリティを題材にした作品、もしくは、社会的・性的マイノリティ・アーティストの作品について伺いました。
15	9月12日	(プロデューサー、レクチャラー、実行委員会代表)	
16	9月19日	井川健司様 (水部メディカルクリニック)	「アンチエイジング医療」などについて、また、HIV感染やAIDSなどの問題、LGBTについてもお話を伺いました。
17	9月26日	カール様	LGBTフリーゾーンのお話について、また、東京府立大が「LGBTの啓蒙」を掲げて、わが国で初めて行われる「LGBTフリーゾーン」の開催について、お話を伺いました。
18	10月3日	田中潤様 (弁護士)	出来たのは2月というテーマでお話ししました。
19	10月10日	藤崎純様 (レインボーフェスタ2015/実行委員)	10月10日(土) 周知公開で開催されるレインボーフェスタ2015についてお話を伺いました。
20	10月17日	(「バンドHIV」) (ゆいさん、でらゆうさん)	LGBTや、HIV/AIDSなどにまつわる法律や相談のお話を伺いました。
21	10月24日		メンバーそれぞれ、HIV/AIDS啓発について様々な社会貢献活動を行っている言うことで、その内容について伺いました。
22	10月31日	こじ様	また、「大阪エイズウィーク」に向けたオリジナルソング「Zero discrimination」も公開していただきました。
23	11月7日	(「QWRCC」)	大阪で、LGBTや女性差別に対する活動を行っている団体「QWRCC」(啓発活動する様々なイベント(夜間会)や、電話相談「10,000人の医療・福祉関係者に配布する冊子制作プロジェクト」)のごと、LGBTへの理解や意識の変化、今後の活動の展望などをお話ししました。

資料7

番組放送内容 (2015年11月~2016年3月)

ラジオ番組



放送回数	放送日	出演者	主な内容
24	11月14日	東智子様	HIV/AIDSの啓発活動に企業として熱心である「THE BODY SHOP」さんにお話し頂き、啓発活動をはじめたきっかけ・経緯について、活動始めてからの、お客様の声やアクション、大阪エイズウィークでの活動などについて、お話ししました。
25	11月21日	(株式会社イオンフレスト営業第三部 部長)	
26	11月28日	辻宏幸様 (公益財団法人エイズ予防財団) さん様 (HIVと人権・情報センター 関西支部)	「大阪エイズウィーク2015」についてお話を伺いました。また、HIVと人権・情報センター 関西支部のさん、地元に活動し、HIV/AIDSに関する電話相談の業務も伺いました。
27	12月5日	辻宏幸様	イベントが盛りだくさん「大阪エイズウィーク2015」についてお話を伺いました。さらに、啓発活動に関する「キャラクターデザイン」問題についてもお話を伺いました。
28	12月12日	HIV/AIDS関連 音楽・トピックス紹介	HIV/AIDSにスポットを当てて、音楽ととも話題を紹介
29	12月19日	LGBT関連 音楽・トピックス紹介	LGBT関連のトピックを中心に、音楽ととも紹介
30	12月26日	白原理恵様	2年目の大阪エイズウィーク2015が、今年のHIV/AIDSにまつわる 状況、環境を振り返ってお話ししていただきました。
31	1月2日	白原理恵様	昨年未から啓発に力をつけて、HIV/AIDSにまつわるニュースや治療にまつわる話題について、白原先生に質問も解説も予定していただきました。
32	1月9日	結城様	HIV/AIDSにまつわるトピックス紹介や、昨年開催された、御堂関ワーナー ストリートに出展した「LOVE+RED」ブースに備えたメッセージなどを紹介しました。
33	1月16日	藤崎純様 (こう行政書士事務所)	LGBTにまつわる相談を専門領域の一つとして業務に取り扱っている藤崎さんをお話し、行政書士という仕事について、またLGBTフレンドリーな業務や考え方を伺いました。
34	1月23日		
35	1月30日	神仲昭彦様 (MASH大阪)	
36	2月6日		
37	2月13日	古田丸吉様 (大阪府立松原高等学校)	
38	2月20日	大阪府立松原高等学校 「さるくめい」所属の皆様	
39	2月27日		
40	3月5日		
41	3月12日	毛塚様 (NPO法人スマートらいふネット) ※予定	
42	3月19日		
43	3月26日	結城様 ※予定	

資料8



昨年6月の番組開始後の期間総PV数は約46,000  
放送日の土曜が最も高く、次いで日曜日の数字が大きくなっています。

年	2015年								2016年
月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
前半	812	2,611	2,991	3,112	3,367	2,413	3,974	3,312	
後半	2,114	3,036	2,639	2,815	3,494	2,531	3,849	2,572	
TOTAL	2,926	5,647	5,630	5,927	6,861	4,944	7,823	5,884	

※10月はFM大阪サイトリニューアル、12月は毎年開催される大規模無料招待イベントの応募受付期間に差し掛かるため、PV数が増大したと推測されます。

2015年6月9日～2016年1月31日  
総PV数：45,642



資料9



実施概要

- 実施日：2015年7月6日（月）
- 対象：大阪市内某中学校3年生169名
- 場所：上記中学校体育館
- 実施内容：白阪先生を講師に迎えた、HIV/AIDSに関する授業の様態を出張収録して放送。  
併せて、参加した中学生全員に「HIV/AIDSに関する意識調査」を実施。  
夏休みの後、参加者から8名は、エフエム大阪スタジオで白阪先生に疑問・質問を行いました。
- 放送日：7月18日、25日  
8月15日、22日
- 意識調査回数：3年生169名分（男子：81名、女子：88名）
- 結果：12～13ページ参照

資料10



調査票

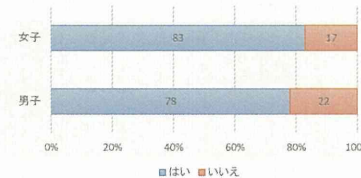
質問	該当する項目に	○印をつけて	下さい
Q1 あなたの性別は？	1：男子	2：女子	
Q2 HIVとAIDSの違いについて理解できましたか？	1：はい	2：いいえ	3：よくわからなかった
Q3 これまで、HIVに感染した方、またはその家族などに対して、どのような印象を持っていましたか？ また、今日の講義を聴いて、思ったより、考えたことは、どんなことですか？	《自由に感想を書いて下さい》		
Q4 SEXの体裁はありますか？	1：はい	2：いいえ	
Q5 避妊具・避妊薬（コンドーム、ピルなど）を知っていましたか？	1：はい（知っていた）	2：はい（知っている）	3：いいえ
Q6 今日の講義を聴くまでに、「LGBT」という言葉を知っていましたか？	1：はい（知っていた）	2：はい（なんとなく）	3：いいえ
Q7 レズ・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーなど、性的少数者/性的マイノリティと呼ばれる人々について、今日の講義を聴いてどのような感想を持ちましたか？	《ひとことでも良いので、自由に/正確に感想を書いて下さい》		
Q8 テレビなどに出演しているタレントさんで、「おなかキョウ」や「おなかキョウ」のタレントさんについて、みなさんは、どのような感想や印象を持っていましたか？ 例好き、嫌い、別に何も感じないなど・・・	《ひとことでも良いので、自由に/正確に感想を書いて下さい》		
Q9 自分の中に、「LGBT」の実感があつたのは？と思いましたか？	1：はい	2：いいえ	
Q10 白阪先生の講義についてわかりやすかったですか？	1：わかりやすかった	2：まあまあ	3：むずかしかった
Q11 AIDS/HIV、SEX/LGBTについて、白阪先生に質問したいことはありますか？ どんな些細なことでもかまいません。	《ひとことでも良いので、自由に/正確に感想を書いて下さい》		

資料11



本授業に対して一定の理解があった。  
HIV/AIDS及び性教育に対する知識が不足している事が伺えるため、  
若年層への継続的な発信が大切といえる。

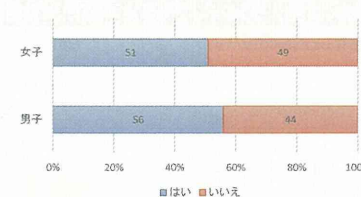
HIVとAIDSの違いについて理解できましたか？



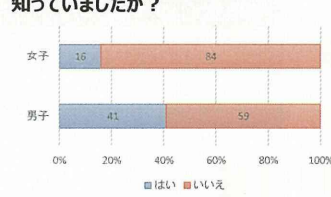
今日の講義を聴くまでに「LGBT」という言葉を知っていましたか？



避妊具・避妊薬を知っていましたか？



コンドームで性感染病を予防できると知っていましたか？



資料12



中学生意識調査結果報告（自由回答欄より）

調査結果



Q.今日の講義を聞いて、思ったり、考えたことは、どんなことですか？

HIV/AIDSについて初めて考えた・知識を持っていなかったという声が非常に多い

- 医学は日々変化しているとわかって安心しました
- これまではあまり近寄りたておこうと思っていました。でも今日話をきいて自然に普通に接していこうと思いました。そして自分はそんな病気にからないようにしっかり予防していきたいです。
- エイズにかかったら確実に死ぬかと思っただけ、同じ部屋にいてもうつろと思ってた。
- HIV・エイズの人ってそんなに多かったのかと驚きました。
- 感染を予防する策を知れたのでよかったです。
- 身近にそのような人がいないので考えたことはなかったけど、少し近寄りたておこうと思いました。
- また、他人事ではないことがわかってびっくりしました。
- AIDSを発症すると100%亡くなってしまおうと思ってたのでびっくりしました。
- 今回の話を聞いて、普通に生活していれば大丈夫なんだと安心すると共に、それを知っているだけで自分や周りを救えることがあると痛感しました。

Q.レズ・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーなど、性的少数者/性的マイノリティと呼ばれる人々について、今日の講義を聞いてどのような感想を持ちましたか？

LGBTに対して、非常に好意的

- 好きなように生きていておもしろいし、いい人が多いから好き。
- 周りにはいないのですが、そういう人と出会ったら理解しようと思いました。
- 絶対に偏見をもってはいけなと思った。
- 性別と心が違っても、それを表に出して堂々としているからいいと思う。
- 我慢するくらいなら自分の気持ちを出した方が楽だと思います。
- アメリカでは同性での結婚も認められたので、これからそういったことが自由に行えるような世界になればいいなと思いました。

無関心であるともいえる

- 自由でいいなと思った
- どんな気持ちなんだろうって思った
- いろんな人がいるんだなと思った

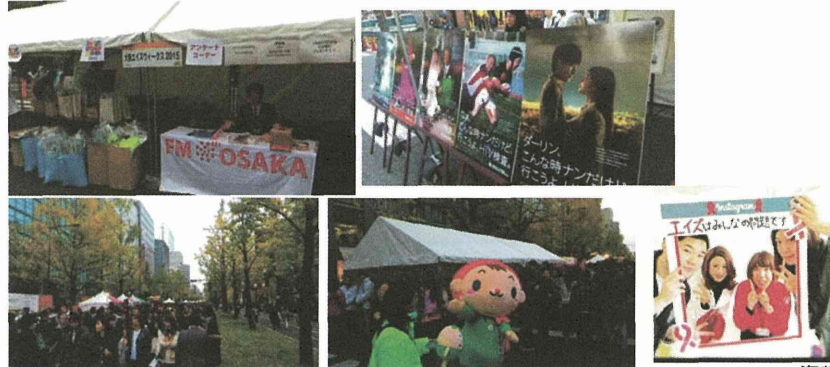
資料13

①御堂筋オータムパーティ「エイズ予防財団」ブース内活用報告



実施概要

- 実施日：2015年11月29日（日）
- 開催イベント：「御堂筋オータムパーティ2015」
- 場所：「エイズ予防財団様」ブース内
- 実施内容：「HIV/AIDSに関する意識調査」に回答いただく（回答者はQUOカード500円分×30名、全国共通百貨店商品券1000円分×5名が当たる抽選会に参加）、番組ステッカー・タイムテーブルの配布
- 有効回答数：367名（全問回答者）※意識調査票の配布数は500
- 結果：20～24ページ参照



資料15

御堂筋オータムパーティ イベント概要



- 実施日時：2015年11月29日（日）14:00～17:00
- 開催イベント：「御堂筋オータムパーティ2015」
- イベント内容：大阪の心臓・御堂筋を歩行者天国とした大規模イベント  
フェラーリF1の展示・大行進をはじめ、自治体やグルメなど多彩な、22のブースが御堂筋に集結  
その中の1つに「大阪エイズウィークス2015」ブースを出版

- 主催：御堂筋パーティ2015実行委員会  
大阪府/大阪市/国土交通省近畿地方整備局/公益社団法人関西経済連合会/大阪商工会議所/一般社団法人関西経済同友会/公益財団法人関西・大阪21世紀協会/公益財団法人大阪観光局/御堂筋まちづくりネットワーク/大阪府商店街振興組合連合会/NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会/中之島・御堂筋SBJ連絡協議会
- 協賛・協力（公財）エイズ予防財団/大阪シティ信用金庫/(株)関西アーバン銀行/(公財)国際花と緑の博覧会記念協会/(株)大丸松坂屋百貨店/(株)高島屋/(株)竹中工務店/(株)デイクセル/南海電気鉄道(株)/平川商事(株)/(株)丸井/三菱自動車工業(株)/(株)ヤマハミュージックジャパン/ヤンマー/(株)GLION GROUP/XEX WEST(一社)OSAKAあかるクラブ



資料14

②「LOVE+RED」特設サイト 意識調査結果報告



実施概要

- 実施日：2015年6月～
- 実施内容：「LOVE+RED」特設サイトに設置した「HIV/AIDSに関する意識調査」に回答いただく
- 有効回答数：181名（全問回答者）
- 結果：20～25ページ参照



資料16



意識調査 調査票

調査票

<共通>

- ・居住地
- ・年齢
- ・性別
- ・Q1 HIV検査が無料匿名で受けられることをご存知ですか？
- ・Q2 HIV検査はどこで受けることができるかをご存知ですか？
- ・Q3 エイズは治療薬があり慢性の病気である事をご存知ですか？
- ・Q4 現在日本ではHIV感染者・AIDS患者が増加していると思いませんか？
- ・Q5 HIV感染者・AIDS患者の新規報告者数における大阪府の全国順位は？
- ・Q6 HIV感染者が使用した食器を共有したり、握手やキスをしたらHIVは感染しますか？
- ・Q7 HIVは性交渉で感染すると思いませんか？
- ・Q8 HIVに感染したら、すぐAIDSを発症すると思いませんか？
- ・Q9 HIVからAIDSの発症を抑える薬が開発されているのをご存知ですか？
- ・Q10 友人や知り合いにエイズ患者やHIV陽性の方はいますか？

<特設サイトのみ>

- ・Q11 性的少数者をはじめ、様々な多様性を認める動きについてあなたはどのように考えですか？
- ・Q12 あなたの周りに同性愛の人がいる場合、他の人と同様に接する事ができると思いませんか？

資料17

御堂筋オータムパーティ ブース内意識調査結果報告

調査結果

居住地はいずれも大阪が大半年齢はイベントの方がやや高い。

居住地

イベント参加者

居住地	割合
大阪	89%
兵庫	5%
奈良	3%
京都	2%
その他	1%

リスナー

居住地	割合
大阪	81%
兵庫	14%
奈良	5%
京都	3%
その他	1%

年齢

イベント参加者

年齢	割合
10代	12%
20代	31%
30代	16%
40代	14%
50代	5%
60代	18%
70代以上	3%

リスナー

年齢	割合
10代	23%
20代	25%
30代	12%
40代	31%
50代	5%
60代	1%
70代以上	3%

性別

イベント参加者

性別	割合
男性	54%
女性	46%

リスナー

性別	割合
男性	49%
女性	51%

資料18

意識調査結果報告 (共通回答)

調査結果

イベントでの回答者の知識は一定レベルにあるといえるが、概して番組リスナーの方が理解度は高い。

Q1 HIV検査が無料匿名で受けられることをご存知ですか？

イベント参加者

回答	割合
はい	65%
いいえ	35%

リスナー

回答	割合
はい	79%
いいえ	21%

Q2 HIV検査はどこで受けることができるかをご存知ですか？

イベント参加者

回答	割合
はい	45%
いいえ	55%

リスナー

回答	割合
はい	66%
いいえ	34%

Q3 エイズは治療薬があり慢性の病気である事をご存知ですか？

イベント参加者

回答	割合
はい	66%
いいえ	34%

リスナー

回答	割合
はい	70%
いいえ	30%

資料19

意識調査結果報告 (共通回答)

調査結果

大阪府のHIV感染者数・AIDS患者の新規報告者数に対する順位について、リスナーの方がより高順位に位置すると感じている事が伺える

Q4 現在日本ではHIV感染者・AIDS患者が増加していると思いませんか？

イベント参加者

回答	割合
はい	87%
いいえ	13%

リスナー

回答	割合
はい	91%
いいえ	9%

Q5 HIV感染者・AIDS患者の新規報告者数における大阪府の全国順位は？

イベント参加者

順位	割合
1位	16%
2位	29%
3位	23%
4位	11%
5位	7%
6~10位	3%
11位以上	1%

リスナー

順位	割合
1位	33%
2位	37%
3位	21%
4位	6%
5位	3%

Q6 HIV感染者が使用した食器を共有したり、握手やキスをしたらHIVは感染しますか？

イベント参加者

回答	割合
はい	81%
いいえ	19%

リスナー

回答	割合
はい	83%
いいえ	17%

資料20



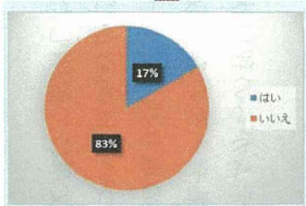
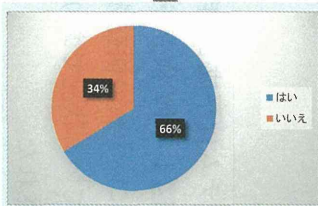


性交渉でのHIV感染が主な感染経路である点について、番組で数多く発信している事もあり、リスナーの理解度は高い。

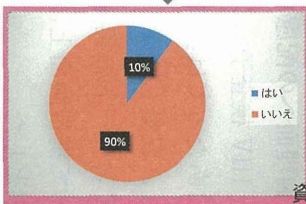
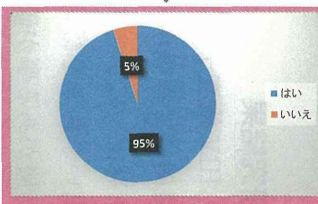
Q7 HIVは性交渉で感染すると思いますか？

Q8 HIVに感染したら、すぐAIDSを発症すると思いますか？

イベント参加者



リスナー



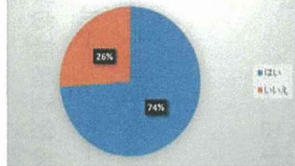
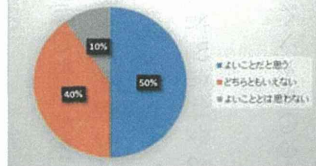
資料21



LGBTの方々に対し、概ね好意的な印象を持っている。年代別に見ると、50代以上の方々への理解は乏しい傾向にある

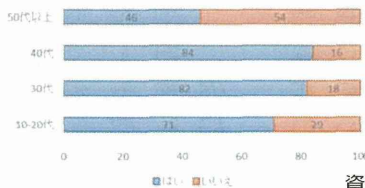
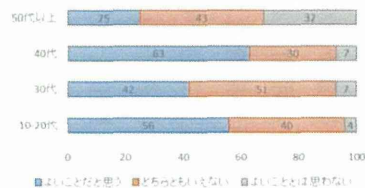
Q11 性的少数者をはじめ、様々な多様性を認める動きについてあなたはどうか考えますか？

Q12 あなたの周りに同性愛の人がいる場合、他の人と同様に接する事ができると思いますか？



年齢別

年齢別



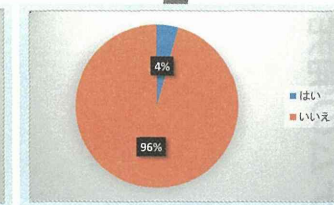
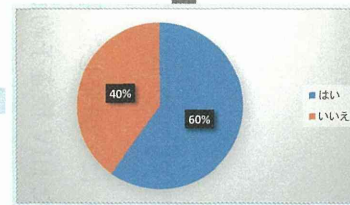
資料23



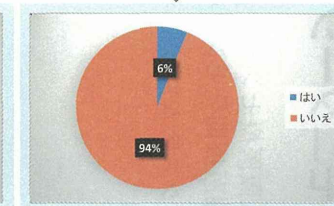
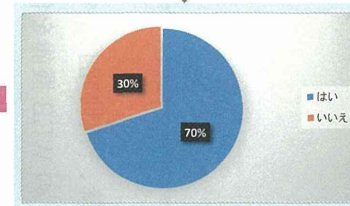
Q9 HIVからAIDSの発症を抑える薬が開発されているのをご存知ですか？

Q10 友人や知り合いにエイズ患者やHIV陽性の方はいますか？

イベント参加者



リスナー



資料22



① 弊社コンテンツを生かした啓発活動

電波が主となるものの、弊社主催・後援イベントにおいて、PRブースを出展したり、本プロジェクトを主としたイベントを実施するなど、エフエムラジオ局としてのコンテンツを生かし、広い啓発活動を推進していきたい。

② 若年層を巻き込んだプロジェクトの推進

HIV/AIDSに対して特に知識の薄い中学・高校・大学といった若年層に対するアプローチをさらに図ってきたい。  
 ・公開収録を兼ねた出張授業  
 ・すでに活動をされている学校との連携

③ 自治体との連携

次年度実施する場合、今年度の実績を基に、自治体とも連携しながら、番組のPR・意識調査の連携を行いたい。  
 そのために、当研究班にご協力もいただき、大阪府・大阪市・堺市をはじめとした関西の各自治体に協力を要請し、より広く発信できるプロジェクトとしていきたい。

④ スポンサーとのタイアップ

上記に記載した番組・イベント・広報活動を支援してくれる企業を見つけ出し、幅広い活動をするサポートをお願いしていきたい。

資料24



## 受検者の携帯を用いた効果モニターシステムの開発

研究代表者：白阪 琢磨（国立病院機構大阪医療センター  
HIV/AIDS 先端医療開発センター）

研究協力者：幸田 進（有限会社ビッツシステム）

### 研究要旨

「HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究」（以降、「前研究」とする）にて開発し運用している、携帯電話またはスマートホン（以降、「携帯電話」とする）の WEB 機能を使った HIV 検査予約システムを継続運用し、HIV 検査の現場においての携帯電話の WEB 機能を使った HIV 検査予約システムによる HIV 検査誘導が有効である事を確認するとともに、更に効果的な利用方法を模索する。

### 研究目的

前研究で開発し HIV 検査機関にて運用している HIV 検査予約システムに対して、HIV 検査を受検する受検者の動向をモニターするツールを開発しデータの分析と評価を行い、HIV 検査予約システムによる検査誘導効果を検証する。

### 研究方法

HIV 検査予約システムが稼動する事で得られる利用履歴データをモニターするツールを作成し、HIV 検査予約システムによる検査誘導効果を検証する。

また、モニターツールを活用し、行政機関や各種団体が HIV/AIDS 関連キャンペーン/イベントを実施した際の利用状況の変化をモニターする事で、HIV 検査予約の視点からのキャンペーン/イベント効果を評価する。

HIV 検査を希望する受検希望者に対して、携帯電話上で動作可能なアンケートシステムを開発し、HIV 検査予約システムと連動して稼働させる事で HIV 検査を希望する受検希望者の動向を調査し評価する。

本研究で収集したアンケート結果と、検査機関が独自に実施しているアンケート等とのデータ比較を行い、携帯電話を利用した HIV 検査予約システムの利用者との利用者層の差異評価や HIV 検査予約シ

ステムの浸透評価を行い、また、評価データから効果的な HIV 検査促進のためのキャンペーンポイント（どのような層にはどのようなキャンペーンが効果的か。など）を検討する。

### （倫理面への配慮）

HIV 検査予約システムからの利用状況データ取得にあたっては集計結果データのみを収集するものとし、収集したデータの取り扱いには十分注意する。アンケートの実施についてはあらかじめ利用者に対して携帯画面上にて文章にて説明した上で実施する事とした。

### 研究結果

HIV 検査予約システムは平成 28 年 1 月現在、3 機関にて稼動中で“図 1 HIV 検査予約システム利用状況”に示すようにいずれの検査機関でも非常に高い予約率を維持している状況であり、一定の利用者層がある事が確認された。

HIV 検査予約システムでは、利用履歴データは検査終了後速やかに削除される仕様となっているため利用履歴データから直接の効果をモニターする事はできない。このため、本年度研究では履歴データを集計した集計結果データを毎日自動的に作成するプログラム改良を実施した。



今回、実施した主な改良項目は以下のとおりである。

- ・ 時間帯別利用状況の集計データ構築プログラム追加  
1時間単位での利用件数を集計
- ・ 日単位利用状況集計データ構築プログラム追加  
1日単位での利用状況を集計
- ・ WEB アンケート呼び出し機能追加  
アンケートプログラムを呼び出す機能
- ・ 利用集中検知プログラム

利用が極端に集中している状況が発生した際の通知

また今回の改良では、システムが稼働している検査機関を検査機関の枠を超えてシステム全体としての状況をモニターできるように集計データの設計を

行った。広域なキャンペーン／イベント等の場合の地域的な差異をモニターできるようにした。

アンケートシステムについては“図3 WEBアンケート呼び出しイメージ”に示すように、HIV検査予約システムに対して検査予約が完了した時点でWEBアンケートシステムを呼び出す機能改良を行い、これと連動して動作するWEBアンケートシステムを構築した。アンケートシステムでは“図4 WEBアンケートシステムイメージ”に示すようにプログラム部分とアンケート項目部分とを切り離し、アンケート項目の追加変更等を容易に行えるよう設計した。具体的なアンケート項目の検討と実装は次年度とした。

集計期間: H27.1/1~12/31	
<b>検査機関 A</b>	
毎日実施	通常21人/Day 予約者数:7,139人 (予約率:99%)
<b>検査機関 B</b>	
第2,4日曜日	40~43人/Day 予約者数: 934人 (予約率:99%)
<b>検査機関 C (H27.10~)</b>	
第1,3土曜日	通常62人/Day 予約者数: 340人 (予約率:100%)

図1 HIV検査予約システム利用状況

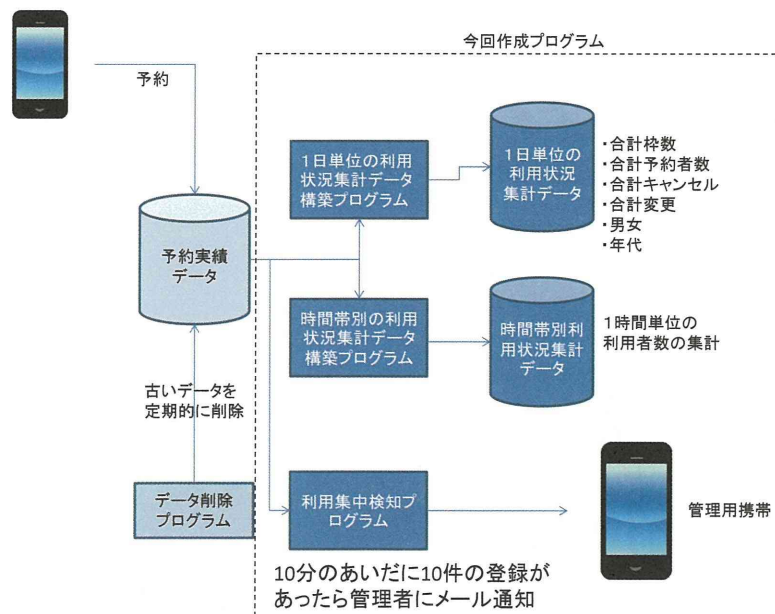


図2 追加プログラムと集計されるデータ

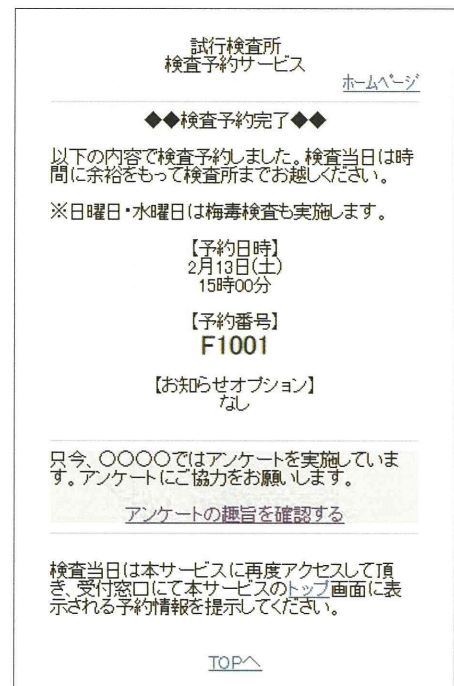


図3 WEBアンケート呼び出しイメージ

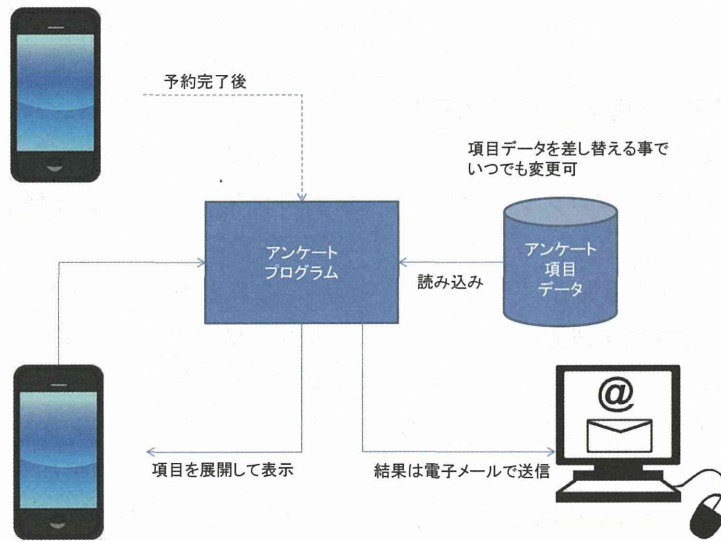


図 4 WEB アンケートシステムイメージ

平成 27 年 11 月 17 日に米国の著名俳優が HIV 感染を告白した事で各種メディアによって HIV/AIDS が改めて取り上げられ注目されたが、HIV 検査予約システム上では「図 5 平成 27 年 11 月度利用状況」に示すように表立った変動は確認できない結果で

あった。これは、平成 26 年 10 月 20 日にテレビ朝日にて放送された「ビートたけしの TV タックル (タイトル:「中高年を襲う「いきなりエイズ」忘れるな！エイズ最前線)」の時と大きく異なる結果であった。



図 5 平成 27 年 11 月度利用状況

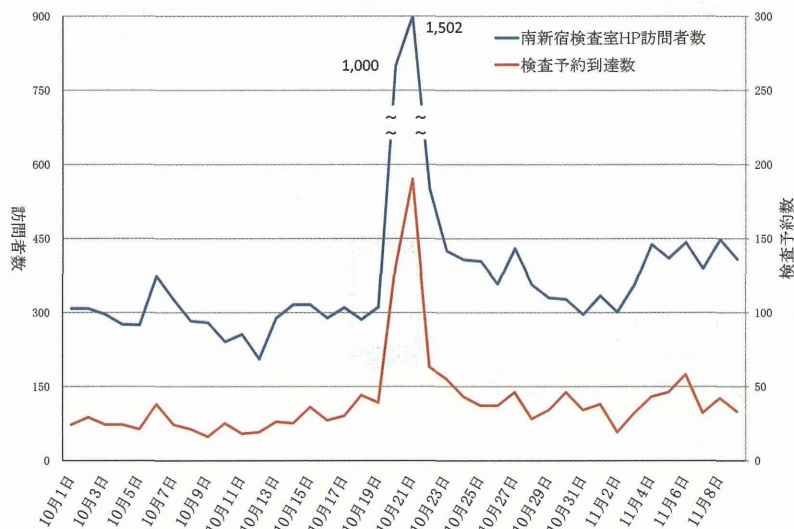


図 6 TV タックル放送による予約状況変化